

第2期 草津市国民健康保険保健事業推進計画（案）の概要について

草津市国民健康保険保健事業推進計画の位置付け



国・社会の動向

1. 新型コロナウイルス感染症による保健事業への影響
 ◇全国的に特定健診の受診控え、保健指導の利用控えが生じた
2. データヘルス計画の策定手引き(令和5年改訂)
 ◇評価指標の標準化
 ◇フレイル予防を念頭に入れた保健事業の展開の検討
 ◇高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
 ◇保健事業の選択・優先順位付け
3. 特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版) 標準的な健診・保健指導プログラム(令和6年度版)
 ◇特定健診の質問項目の見直し
 ◇検査基準値の見直し
 ◇保健指導でのアウトカム評価と支援ポイントの見直し
 ◇ICTの活用や実施方法の工夫

第2期 草津市国民健康保険保健事業推進計画の方向性

- ◆評価指標は滋賀県と統一する(標準化)。
 - ◆「標準的な健診・保健指導プログラム」等に基づき、より効果的な保健指導を検討する。
- ①医療保険制度の継続的な周知・啓発を行うとともに、健康意識の向上を図るため、健康づくりの取組や情報発信を行う。
 - ②特定健診未受診者の性年代別、生活習慣の状況等に応じて、通知や電話、ホームページ、SNS等での受診勧奨を行うなど、効果的な受診勧奨方法を検討・実施する。また、健診(検診)受診率向上のため、特定健診とがん検診の同時けん診の促進を図る。

草津市の現状・課題(評価シート等より抜粋)

- 【健康づくり】**
 ○医療保険制度の適正運営に満足・やや満足と回答した市民の割合(市民意識調査)実績値:30.1%(目標値:35.0%) → ①医療保険制度の継続的な周知・啓発が必要
- 【生活習慣病予防】**
 ○特定健診受診率 実績値:36.4%(目標値:60.0%),滋賀県:39.4% → ②特定健診を受診しやすい環境を整えることが必要
 ○特定保健指導実施率 実績値:16.7%(目標値:60.0%),滋賀県:34.7% → ③保健指導判定値の人の保健指導利用対策が必要
- 【重症化予防】**
 ○ハイリスク者の医療機関受診率 実績値:62.7%(目標値:80.0%) → ④健診の結果、特に医療機関の受診が必要な人に対して、医療機関への受診に繋げるための受診勧奨が必要
 ○糖尿病性腎症重症化予防対象者の医療機関受診率 実績値:38.2%(目標値:80.0%) → ⑤糖尿病性腎症患者への重症化予防対策が必要
- 【医療費適正化】**
 ○重複・頻回受診者、重複服薬者のレセプト改善率 実績値:50.0%(目標値:60.0%) → ⑥医療費適正化に向けて訪問事業を引き続き実施していく必要がある
- 【地域の健幸、フレイル予防等】**
 ○要介護者の有病状況(国保・後期) 糖尿病:実績値:27.8%、滋賀県:26.1% 脂質異常症:実績値:36.2%、滋賀県:32.8% → ⑦介護が必要になる背景には、不適切な生活習慣が影響しており、自立した生活がおくれる高齢者を増加させることが必要



- ③特定保健指導の成果等について見える化を進め、アウトカムの達成状況の把握や要因の検討等を行うなど、より質の高い保健指導を行う。
- ④重症化予防の観点から、特に医療機関の受診が必要な人に対して、健診結果等を分析し、受診の必要性を訴えるなど、ハイリスク者の医療機関の受診率が向上するよう、効果的な受診勧奨を行う。
- ⑤糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い人に対して、医療機関の受診勧奨や保健指導を行う。
- ⑥医療費適正化に向けて、重複・頻回受診者、重複服薬者への重症化予防として、訪問による生活指導を行う。
- ⑦フレイル予防・介護予防のために、地域の社会資源を活用した保健事業を検討するとともに、関連各課と連携した保健事業を展開する。

第2期 草津市国民健康保険保健事業
推進計画の方向性（再掲）

◆評価指標は滋賀県と統一する（標準化）。

◆「標準的な検診・保健指導プログラム」等に基づき、より効果的な保健指導を検討する。

①医療保険制度の継続的な周知・啓発を行うとともに、健康意識の向上を図るため、健康づくりの取組や情報発信を行う。

②特定健診未受診者の性年代別、生活習慣の状況等に応じて、通知や電話、ホームページ、SNS等での受診勧奨を行うなど、効果的な受診勧奨方法を検討・実施する。また、健診（検診）受診率向上のため、特定健診とがん検診の同時けん診の促進を図る。

③特定保健指導の成果等について見える化を進め、アウトカムの達成状況の把握や要因の検討等を行うなど、より質の高い保健指導を行う。

④重症化予防の観点から、特に医療機関の受診が必要な人に対して、健診結果等を分析し、受診の必要性を訴えるなど、ハイリスク者の医療機関の受診率が向上するよう、効果的な受診勧奨を行う。

⑤糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い人に対して、医療機関の受診勧奨や保健指導を行う。

⑥医療費適正化に向けて、重複・頻回受診者、重複服薬者への重症化予防として、訪問による生活指導を行う。

⑦フレイル予防・介護予防のために、地域の社会資源を活用した保健事業を検討するとともに、関連各課と連携した保健事業を展開する。

健康意識の向上を図ります

健診（検診）受診および保健指導の利用により生活習慣病の予防と早期発見を推進します

生活習慣病の重症化により、心筋梗塞、脳梗塞、人工透析等の重篤な疾患にならないための取組を推進します

医療費の増加を防ぐため、被保険者の医療費適正化に向けて対策を講じます

高齢期における運動習慣、食習慣からの身体能力の低下を予防するための事業を推進します

第2期 草津市国民健康保険保健事業推進計画（案）の概要

<長期目標>
①健康寿命の延伸

<中期目標>
①メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少
②新規人工透析患者数の減少

方針	方向性	保健事業の取組内容	主な指標と現状値・目標値 (※) 市町・県の共通目標
健康づくり	① 健康意識の向上	① 健康づくりの取組と情報発信	週に1回（30分以上）は運動をしている市民の割合 現状値：57.7% 目標値：69.0%
生活習慣病の予防	② 特定健診受診率の向上	① 未受診者の特性に応じた受診勧奨の実施 ② 40歳代の健診受診率の向上 ③ 特定健診とがん検診の同時実施 ④ 被用者保険との連携による集団けん診の実施	特定健診受診率（※） 現状値：36.4% 目標値：60.0%
	③ 特定保健指導実施率の向上と質の高い保健指導の実施	① 質の高い効果的な利用勧奨・保健指導の実施 ② ICTを活用した特定保健指導 ③ 保健指導委託先への指導効果のフィードバック	特定保健指導実施（終了）率（※） 現状値：16.7% 目標値：60.0%
生活習慣病の重症化予防	④ がん検診の受診率の向上	① 特定健診とがん検診の同時実施（再掲） ② 個別勧奨および再勧奨の実施	がん検診受診率 現状値：1.8%～19.3% 目標値：12.5%～28.1%
	⑤ 生活習慣病の早期発見・早期治療	① 特定保健指導の対象外で保健指導判定値を超える方への生活指導の実施	高血糖者の割合（※） 現状値：9.5% 目標値：9.2% 血圧が保健指導判定値以上の者の割合（※） 現状値：49.3% 目標値：44.0%
医療費の適正化	⑥ 糖尿病性腎症および生活習慣病の重症化予防	① 糖尿病性腎症および生活習慣病のハイリスク者に対する医療機関受診勧奨の実施	糖尿病性腎症重症化予防対象者の医療機関受診率 現状値：38.2% 目標値：80.0%
地域包括ケアおよびフレイル予防	⑦ 適正受診・適正服薬の推進	① 重複・頻回受診、重複服薬者および多剤投与者への健康相談等訪問指導の実施 ② 後発医薬品（ジェネリック）の普及啓発	ジェネリック医薬品の利用率 現状値：80.3% 目標値：82.0%
	⑧ 地域資源を活用したフレイル予防	① 地域資源を活用したフレイル予防	50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合 現状値：77.4% 目標値：80.5%